

◆第3期計画骨子案の考え方◆

○「重点的に取り組むべき課題」は、すべての分野が重点的な課題であるという国の考え方に沿って設定せず。

○「基本方針」は、その内容である策定の主旨や計画期間は本文に別途記載。

○「基本理念」は、全体目標のめざすところであり、引き続き設定。（国は基本理念はなく、スローガンを設定）

○全体目標は、国は「予防」「治療」「共生」の3つの観点で設定しているが、全体目標は「施策」ではなく、「患者のあるべき姿」であるはずなので、2期計画の目標をベースに、指標も含め設定。（別添）

○「分野別施策」は、国は「予防」「治療」「共生」と「これらを支える基盤整備」を柱にしているが、「共生」は施策ではなく「目指す姿」である。また、「緩和ケア」は、終末期ではなく医療であるという考え方でこれまで議論を進めてきたが、国は「緩和ケア」を「共生」に入れているなど、柱立てには違和感を感じる。

- ・上記の理由と、2期計画の評価においても柱立ての大きな修正の必要性がなかったことから基本的には2期計画の内容を踏襲する。
- ・国の個別施策の中で、新規を含め県の役割と考える施策はすべて盛り込む。
- ・具体的な設定方法としては、柱ごとに目標と指標を定め、そのために必要な施策と指標を2期計画の課題等をふまえ設定。（指標は目安として定め、目標値は定めない）

計画期間 : H30年度～H35年度 6年計画

基本理念 **がんにならない、がんになっても安心できる 奈良県**

基本理念の実現に向けて、次の3つの目標を設定し 取組を推進

目標1

がんにならない、がんで若い人が亡くならない

* 指標を設定

目標2

全てのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく療養生活を送ることが出来る

* 指標を設定

目標3

全ての県民ががんを知り、がんに向き合い、希望を持って暮らせる地域共生社会をつくる

* 指標を設定

■分野別施策

がん予防・がんの早期発見

がん予防
(喫煙・生活習慣)

がんの早期発見
(がん検診)

がん医療

がん医療の充実

診断された時からの緩和ケア

地域連携

(拠点病院等と地域との連携・在宅緩和ケア)

がん患者等への支援

相談支援及び情報提供
(小児がん、AYA世代等、各世代に対応した相談窓口の検討)
(ピアサポート機能の強化・充実)

がん患者の就労を含めた社会的な問題
(「働き方」相談支援体制の充実)
(事業所への啓発)

がんの教育・普及啓発

がん登録
(データを活用したがん対策の実現)

国の計画の考え方に基づきつつ、今までの県の議論の流れに沿って策定